

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



コガネムシ類の防除



- 近年、7月以降のブドウ葉に**コガネムシ類**（ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、マメコガネ等）の発生が見られます。
- **マメコガネ**は体長1cm程度の小型甲虫です（写真）。特に頻繁に認められます。
- 新梢先端の柔らかな葉を中心に、ボルドー液がかかった状態であっても葉脈を残すように網目状に食害します。
- 殺虫剤の**アディオフロアブル1,500倍**、**ダントツ水溶剤4,000倍**、**エクシレルSE 5,000倍**等の散布が有効ですので指導機関と相談して用いて下さい。
- 散布しても残効が切れると**再発生**するので十分に観察しながら対応して下さい。



写真. ブドウ葉を食害するマメコガネ（品種：甲州）



晩腐病によく似た苦腐病



- 現地調査において、園によっては**苦腐病**（にがぐされびょう）の発生果を見かけることがあります（写真）。
- 外観は**晩腐病**によく似ていますが、胞子の塊りが晩腐病の**オレンジ色**に対して苦腐病では**黒色**です。
- 防除対策は晩腐病同様に休眠期からの**殺菌剤散布**、**早期袋・カサかけ**、**被害果の整理**が中心となります。



写真. 現地調査で観察された果実腐敗病（品種：ピオーネ、左：晩腐病、右：苦腐病）